

町ぐるみで安全安心な住みよい地域を
白鷹町安全安心なまちづくり町民大会

白鷹町安全安心なまちづくり町民大会が11月12日、町産業センターで行われました。

この大会は、交通事故や犯罪、災害等の防止を図り、安全で安心な住みよい地域社会の実現に寄与することを目的としたもので、今回が初開催。町民や関係行政機関など約200人が参加しました。佐藤町長は「事故や災害は身近にある。自らの命や地域は自らで守る」という意識を持ち、もし

ものときの行動につなげていきたい」とあいさつ。続いて交通事故遺族の会「こまくさの集い」代表の渡邊理香さんと、西置賜行政組合消防署白鷹分署補佐の菊地幸一さんによる講演が行われました。その後、町交通安全母の会蚕桑支部長の小関浩子さんが大会宣言を

読み上げ、山形県警察音楽隊がリズムカルな演奏を披露。参加者は、大会を通して交通事故や災害等に対する理解を深めました。



①大会宣言を堂々と読み上げる小関さん ②白鷹町では初披露となった県警音楽隊による演奏



おなじみの「おどる！シラタカ・レッド」を元気よく踊る参加者

ともに考え、ともにつくる健康な町
元氣ニコニコ健康まつりを開催

元氣ニコニコ健康まつりが11月11日、町健康福祉センターで開催されました。

今年度は「みんなのでつくる健康な町」をテーマとし、親子サッカー教室や健康づくりのための体操など、体を動かす内容をメインに企画。あいにくの雨により内容を一部変更したのもありましたが、子どもから大人、そしてお年寄りの方も

一緒になって楽しく汗を流しました。

また、今年も食育コーナーや健康づくり体験、福祉施設作業体験などのコーナーが設けられ、来場者はそれぞれに自分自身や家族の体、生活に目を向けながら参加。各種体験等を通して、健康への意識を改めました。（16頁に関連記事）

JA山形おきたま・JA共済連山形
町にカーブミラー4基を寄贈

山形おきたま農業協同組合（木村敏和代表理事組合長）及び全国共済農業協同組合連合会山形県本部（長澤豊運営委員会会長）によるカーブミラー贈呈式が11月17日、町長室で行われました。

これは「地域の交通事故

防止に役立ててほしい」と毎年行われているもので、今回は4基のカーブミラーを寄贈いただきました。今後、交通安全と事故防止のために町内各所に設置させていただきます。

ありがとうございます。

